

第38回PFF 東京開催タイムテーブル

		G…ゲスト来場予定。最新ゲスト情報はHPをチェック！	
毎日、開演時間が変わります。ご注意ください。		開場時間…自由席のコンペティション部門「PFFアワード」は30分前、指定席の招待作品部門は15分前。	
9.10 [土]	大ホール	▶11:00～ PFF講座シリーズ オープニング 映画のコツ ～こうすればもっと映画が輝く～ 渡辺謙作監督&前野朋哉&森岡 龍 「俳優業と監督業」 G 贈談	▶15:15～ PFFアワード2016 「回転(サイクリング)」 「シジフォスの地獄」 「花に嵐」 G
	小ホール	▶11:30～ 8ミリ・マッドネス!! 「男の花道」 G	▶14:30～ オープニング 「ギ・あいうえお」 他山の石を以て己の玉を磨くべし G 日本初上映
11 [日]	大ホール	▶11:00～ 傑作発見! 「我等の時代の映画作家シリーズ ジョン・カサヴェテス」 「The Exiles エグザイル」 G	▶14:30～ PFFアワード2016 「私の恋」 「DRILL AND MESSY」 「山村てれび氏」 G
	小ホール	▶11:30～ 8ミリ・マッドネス!! 「はなされるGANG」 G	▶14:00～ 追悼・ジャック・リヴェット。女優の魔術師 「セリヌとジュリーは舟でゆく」 G
12[月]	休館日		
13 [火]	大ホール	▶11:00～ PFF講座シリーズ 映画のコツ ～こうすればもっと映画が輝く～ 橋口亮輔監督&鈴木敏夫プロデューサー 「映画の新しい表現」 G 対談	▶15:30～ PFFアワード2016 「ツケモノの子」 「福島桜紀行」 「食卓」 G
	小ホール	▶19:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「1/880000の孤独」 「電柱小僧の冒険」 G	
14 [水]	大ホール	▶12:00～ PFFアワード2016 「傀儡」 「限界突破応援団」 G	▶15:30～ PFFアワード2016 「楽しい学校生活」 「ヴァニタス」 G
	小ホール	▶19:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「俺は園子温だ!!」 「東京白菜関K者」 G	
15 [木]	大ホール	▶13:00～ PFFアワード2016 「おーい、大石」 「波と共に」 「また一緒に寝ようね」 G	▶16:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「愛の街角2丁目3番地」 G
	小ホール	▶18:30～ 8ミリ・マッドネス!! 「聖テロリズム」 G	
16 [金]	大ホール	▶13:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「UNK」 「HIGH-SCHOOL-TERROR」 「雨女」 G	▶16:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「1/880000の孤独」 「電柱小僧の冒険」 G
	小ホール	▶19:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「はなされるGANG」 G	
17 [土]	大ホール	▶12:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「聖テロリズム」 G	▶15:00～ PFF講座シリーズ 映画のコツ ～こうすればもっと映画が輝く～ 真利子哲也監督&堀越謙三プロデューサー 「作家映画の行方」 G 対談
	小ホール	▶11:30～ ギ・あいうえお 2本立て 「ずばぬけたかえうた」 「他山の石を以て己の玉を磨くべし」 G	▶16:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「愛の街角2丁目3番地」 G
18 [日]	大ホール	▶11:00～ 傑作発見! 「まぶだち」 G 未ソフト化作品	▶14:30～ PFFアワード2016 「ツケモノの子」 「福島桜紀行」 「食卓」 G
	小ホール	▶13:00～ 8ミリ・マッドネス!! 「俺は園子温だ!!」 「東京白菜関K者」 G	▶18:00～ PFFアワード2016 「傀儡」 「限界突破応援団」 G
19[月]	休館日		
20 [火]	大ホール	▶11:30～ PFFアワード2016 「バット、フロム、トゥモロー」 「もっけのさいわい」 G	▶15:00～ PFFアワード2016 「私の恋」 「DRILL AND MESSY」 「山村てれび氏」 G
	小ホール	▶18:30～ 8ミリ・マッドネス!! 「男の花道」 G	
21 [水]	大ホール	▶11:30～ PFFアワード2016 「回転(サイクリング)」 「シジフォスの地獄」 「花に嵐」 G	▶15:00～ PFFアワード2016 「人間のために」 「溶ける」 G
	小ホール	▶18:30～ 傑作発見! 「我等の時代の映画作家シリーズ ジョン・カサヴェテス」 「The Exiles エグザイル」 G	
22 [木・祝]	大ホール	▶11:00～ PFFアワード2016 「楽しい学校生活」 「ヴァニタス」 G	▶14:30～ PFFアワード2016 「おーい、大石」 「波と共に」 「また一緒に寝ようね」 G
	小ホール	▶12:30～ 追悼・ジャック・リヴェット。女優の魔術師 「セリヌとジュリーは舟でゆく」 G	▶18:00～ クロージング 「淵に立つ」 G 先行プレミア上映
23 [金]	大ホール	※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合もございます。ご了承ください。	
	小ホール	▶16:30～ PFFアワード2016 表彰式&グランプリ作品上映	

作品募集

グランプリ賞金100万円 応募しなくちゃ始まらない

PUNK!2017

第39回PFF PFFアワード2017作品募集!

(受付期間) 2017年2月1日[水]～3月23日[木]予定 当日消印有効

【お問い合わせ】PFF事務局 03-5774-5296 (平日11:00～18:00)

【会場アクセス】

- 銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分
- 浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分
- 有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分
- JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

N東京国立近代美術館フィルムセンター

FNational Film Center

GThe National Museum of Modern Art, Tokyo

東京都中央区京橋 3-7-6

38th

映画はPUNKだ!

第38回PFF ぴあフィルムフェスティバル

2016 9.10[土]-23[金]

東京国立近代美術館

フィルムセンター [京橋]

※月曜休館

主催: PFFパートナーズ ぴあ ホリプロ NIKKATSU / UNIJAPAN 公益財団法人ユニジャパン 共催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

特別助成: 映画演劇文化協会 特別支援: 一般社団法人 日本映画製作者連盟 特別協賛: SEGA-SAMMY GROUP 一信用と創造一 住友不動産

PFFサポーターズ: KLOCK WORK TOPPAN BS日本映画専門チャンネル ROBOT Brega 朝日新聞 三井住友VISAカード DOLBY JCB DISK GARAGE IJmio 東北新社の映像学校 映像テクノアカデミア

後援: NPO法人 映像産業振興機構 (VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会 協力: 日本映画ペンクラブ

http://pff.jp/38th/

PFFアワード2016

PFFアワードは、自主映画のためにあります。自主映画とは、自ら企画し、自ら創り上げる映画。DIY映画です。

だからこそ生まれるよろこびとオリジナリティ、予期せぬ驚きと力への期待を、本年はこの20作品に込めてお贈りします。

そして、今年、PFFアワードは新たなチャレンジを行います！

それは、配信。動画配信サイト「青山シアター」にて、オンラインでPFFアワード作品を観ることが実現します。

A

PFF AWARD PROGRAM

▶9/10[土] 15:15～
▶9/21[水] 11:30～

『回転(サイクリング)』

16分

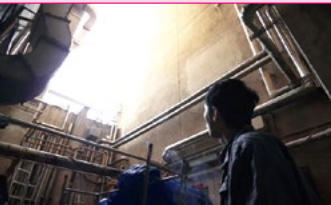


監督: 山本 英 (24歳／広島県出身)

隣あった家で独居生活する70代の姉と弟。趣味と健康維持にいそしむ姉弟の穏やかな日々を「観察」するうち、2人の習慣が入れ替わる！ 監督の愛情に満ちた眼差しが全編を包む。

『シジフォスの地獄』

19分



監督: 伊藤 舜 (22歳／神奈川県出身)

ひたすら小石を分類する砂利選別作業所で働く石井。使えない新人。唐突に辞めた先輩。石井の耳には冬なのに蟬の音が鳴り続ける。この閉塞した場から、早く逃げろ！ 石井！

『花に嵐』

76分



監督: 岩切一空 (23歳／東京都出身)

大学の映画サークルに入った僕が始める映像日記は、フェイクドキュメンタリー、ミステリー、ホラーと七変化。美人先輩に「脂」と名づけられ嘲笑されても、撮影に突っ走る！

B

PFF AWARD PROGRAM

▶9/10[土] 18:30～
▶9/20[火] 11:30～

『バット、フロム、トゥモロー』

61分



監督: 鈴木竜也 (21歳／宮城県出身)

気弱なノビタ宅に居候する地方都市の大学生イクオはカンニングで留年決定。地味な女子に恋するノビタ。衝動的行動が思わぬ結果を招くが、それでも明日はある！と背中を押す。

『もっけのさいわい』

45分



監督: 中泉裕矢 (36歳／茨城県出身)

口論が絶えない倦怠期夫婦のアパートにヤモリが。妻は幸福の印と喜ぶ。すると、彼らの家にモノノケ(=もっけ)が登場！ 微妙な心理の変遷をテンポよく描く、ある結婚の風景。

C

PFF AWARD PROGRAM

▶9/11[日] 14:30～
▶9/20[火] 15:00～

『私の窓』

41分



監督: 渡邊桃子 (22歳／長野県出身)

長野の祖父宅で穏やかな日々を過ごし、美岬は東京に戻る。監督自身の祖父や友人を配役して極私的世界を描きながら、映画の幅、日常で生まれるドラマの可能性を、押し広げる。

『DRILL AND MESSY』

40分



監督: 吉川鮎太 (21歳／京都府出身)

とある美大。男は女を汚して映像を撮る。女は完成させた彫像を破壊。彼らにとって芸術とは？ 基盤は性欲？ 憎悪？ 美男美女のボーイ・ミーツ・ガール形式で果敢に問う！

『山村てれび氏』

21分



監督: 阿部理沙 (31歳／東京都出身)

かつて山村家の団らんの中心にあったブラウン管テレビ=てれび氏は、無用の長物に。氏はずっと見つめてきた家族の日々を再生。氏の第二の人生も描く、愛にあふれた作品。

D

PFF AWARD PROGRAM

▶9/11[日] 18:00～
▶9/21[水] 15:00～

『人間のために』

62分



監督: 三浦 翔 (23歳／兵庫県出身)

戦争したくない。民主主義ってなんだ。暴力と痛み。言葉。違和感。大学生の私たちが、今、何を感じているか、探り、記録し、表現しようとする強い意志が、ひしひしと伝わる。

『溶ける』

45分



監督: 井裡 彩 (20歳／北海道出身)

田舎町の女子高校生・真子は、言葉にならない違和感を学校でも家でも抱いている。東京から来た従兄弟、妊娠する同級生。真子の苛立ちは何に對する嫌悪なのか、力強く描く。

映画祭でライブ上映を体験し、オンラインでふたたび感動を。

第38回PFFでは、フィルムセンター大スクリーンでのPFFアワード作品上映後、毎回、監督、スタッフ、キャストらのゲストを囲むトークやサイン会を実施します。

また、最終審査員も集合する表彰式では、各賞決定の瞬間も目撃できます。

 表彰式&グランプリ上映。チケットも発売します！ ▶9/23[金] 16:30～
なお、グランプリ作品は第29回東京国際映画祭にて、特別上映されます。

※監督の年齢は応募時のものです。
※入選監督の詳しい情報は、公式サイトに掲載します。



昨年の表彰式の様子。各受賞者と最終審査員。

E

PFF AWARD PROGRAM

▶9/13[火] 15:30～
▶9/18[日] 14:30～

『ツケモノの子』

22分



監督: 阿部 平 (22歳／福島県出身)

兄と暮らしている女性はタクワン大好き。だが、ある日この世からタクワンの存在自体が消滅、代替物を探し求めるが…。愛や幸福の探求をコミカルに表現する発想力が素晴らしい。

『福島桜紀行』

30分



監督: 鉾井 喬 (31歳／神奈川県出身)

福島在住の監督が県内の桜前線に沿って移動、桜と人々を撮っていく。太平洋側から内陸へ、福島各地の現在が具体的に描かれるなか、静かな語り口と満開の桜に、涙あふれる。

『食卓』

47分



監督: 小松 孝 (34歳／埼玉県出身)

年金暮らしの父と無職の30代息子の散らかりきった一軒家に、父の再婚相手が参入。3人の孤独を食卓／食事の変化で表現しつつ、「創作」による再生も描く、汚部屋ラブソニー。

F

PFF AWARD PROGRAM

▶9/14[水] 12:00～
▶9/18[日] 18:00～

かいらい
『傀儡』

77分



監督: 松本千晶 (22歳／神奈川県出身)

恋人を失って12年後、男は故郷に戻り彼女の死の真相を探る。トンネルを抜けたところにある村は、異世界のごとく人も空気も奇妙に歪み…。ねっとりした質感が充満する力作。

『限界突破応援団』

30分



監督: 渡邊 聡 (23歳／福岡県出身)

高校の応援団に入った1年生男子が、伝説の応援王を超えるべく奮闘。応援団の存在意義とは？ という根源的な問いも含めて、熱くもえたぎる青春スポ根コメディ。

G

PFF AWARD PROGRAM

▶9/15[木] 13:00～
▶9/22[木・祝] 14:30～

『おーい、大石』

26分



監督: 菊沢将憲 (41歳／福岡県出身)

平和活動に飽きたキクザワは、橋の下に暮らす大石に再会。そこの葉っぱを吸ったり劇をしてみたり、おっさん2人の突飛な行動に、喪失、自由、人生、友情が、ポップに炸裂！

『波と共に』

26分



監督: 川添ビラル (25歳／兵庫県出身)

福島から避難した女性のペンションで働くミャンマー人青年と女性の甥。帰る場所を失った、似ているようで異なる境遇を越え、海辺の町で絆を結んでいく姿を情感豊かに描く。

『また一緒に寝ようね』

43分



監督: 首藤 凜 (21歳／東京都出身)

「コウモリが天井に張り付いている」と男が言い、1年。一緒に暮らすOLはなすすべく別の男と逢瀬。過去と現在、幻と現実、さまざまが絡まり、映画の工夫が随所で楽しめる。

H

PFF AWARD PROGRAM

▶9/14[水] 15:30～
▶9/22[木・祝] 11:00～

『楽しい学校生活』

5分



監督: 前畑佑紀 (21歳／鹿児島県出身)

中学校の休み時間、ひとりの女生徒の目から見える教室の風景を描いたアニメーション。楽しいが級友や壁の落書きに、おずおずと向けられる視線に、心情が鮮明に浮かび上がる。

『ヴァニタス』

104分



監督: 内山拓也 (23歳／新潟県出身)

毎日のようにバスケットに興じる大学生4人。自分の胸のうちや境遇を語らない関係性とやがて起きる破綻を、繰り返しの日常でシャープに描く。ただならぬ映像センスが光る。

オープニング

大ホール ▶9/10[土] 11:00～

渡辺謙作監督&前野朋哉&森岡 龍

「俳優業と監督業」

▶右記「PFF講座シリーズ 映画のコツ〜こうすればもっと映画が輝く〜」ページをご覧ください。

小ホール ▶9/10[土] 14:30～(小ホール)
▶9/17[土] 11:30～(小ホール)

日本
初上映



『ギ・あいうえおス
他山の石を以て己の玉を磨くべし』
©Yamaguchi Center for Arts and Media (YCAM) / Go Shibata

監督: 柴田 剛 2016年/パートカラー/86分

出演: ギ・あいうえおス(柴田 剛、西村立志、森野 順 ほか)
製作: 山口情報芸術センター[YCAM]

ギ・あいうえおスとは、楽器を持たず映画制作のツールを用いて、音楽のように映画をつくる「バンド」である。国内外の映画祭において熱狂的なフォロワーを生み出した前作から6年、彼らは新しい仲間と旅に出て、土地と、精霊と、セッションする。類い稀なるセンスと第六感の映画作家・柴田剛が再び放つ実験のロードムービー。

※9/17[土]のみ、前作「ギ・あいうえおス 〜ずばぬけたかえうた〜」を同時上映します。詳細は公式サイトをご覧ください。

クロージング

先行
プレミア
上映 ▶9/22[木・祝] 18:00～



『淵に立つ』 ©2016映画「淵に立つ」製作委員会/COMME DES CINEMAS

監督: 深田晃司 2016年/119分

出演: 浅野忠信、筒井真理子、古館寛治、太賀
配給: エレファントハウス、カルチャヴィル

本年のカヌヌ映画祭「ある視点」審査員賞受賞。『歓待』『ほとりの朔子』などで世界から注目を集める深田晃司監督が、圧倒的な人間描写力で“家族”を問い直す問題作。ある日、小さな町工場を営む一家のもとに、夫の旧い知人で前科を持つ男が現れた。奇妙な共同生活を送り始めるが、やがて男は残酷な爪痕を残して姿を消す…。

Invited

大ホール ▶9/10[土] 11:00～

渡辺謙作監督&前野朋哉&森岡 龍

「俳優業と監督業」

▶右記「PFF講座シリーズ 映画のコツ〜こうすればもっと映画が輝く〜」ページをご覧ください。

小ホール ▶9/10[土] 14:30～(小ホール)
▶9/17[土] 11:30～(小ホール)

日本
初上映



『ギ・あいうえおス
他山の石を以て己の玉を磨くべし』
©Yamaguchi Center for Arts and Media (YCAM) / Go Shibata

監督: 柴田 剛 2016年/パートカラー/86分

出演: ギ・あいうえおス(柴田 剛、西村立志、森野 順 ほか)
製作: 山口情報芸術センター[YCAM]

ギ・あいうえおスとは、楽器を持たず映画制作のツールを用いて、音楽のように映画をつくる「バンド」である。国内外の映画祭において熱狂的なフォロワーを生み出した前作から6年、彼らは新しい仲間と旅に出て、土地と、精霊と、セッションする。類い稀なるセンスと第六感の映画作家・柴田剛が再び放つ実験のロードムービー。

※9/17[土]のみ、前作「ギ・あいうえおス 〜ずばぬけたかえうた〜」を同時上映します。詳細は公式サイトをご覧ください。

クロージング

先行
プレミア
上映 ▶9/22[木・祝] 18:00～



『淵に立つ』 ©2016映画「淵に立つ」製作委員会/COMME DES CINEMAS

監督: 深田晃司 2016年/119分

出演: 浅野忠信、筒井真理子、古館寛治、太賀
配給: エレファントハウス、カルチャヴィル

本年のカヌヌ映画祭「ある視点」審査員賞受賞。『歓待』『ほとりの朔子』などで世界から注目を集める深田晃司監督が、圧倒的な人間描写力で“家族”を問い直す問題作。ある日、小さな町工場を営む一家のもとに、夫の旧い知人で前科を持つ男が現れた。奇妙な共同生活を送り始めるが、やがて男は残酷な爪痕を残して姿を消す…。

8ミリ・マッドネス!!

～自主映画パンク時代～

日本映画史に新たに加わる1ページ、それは、熱狂の8mm映画の歴史。第一線で活躍する監督たちの原点とも言える8mm自主映画を、21世紀のデジタル技術により英語字幕つき世界巡回企画として実現。日本で高度に発達した「8mm自主映画」のエネルギーが、世界を驚かせ始めました。いま、改めて伝えたい、自主映画のパワーです！
《英語字幕付きDCP上映 with English Subtitles.》



PFF×ベルリン国際映画祭×香港国際映画祭 共同企画

01 Hachimiri Madness!! PROGRAM ▶9/16[金] 13:00～
▶9/17[土] 19:00～

『UNK』 1979年/15分/1979年PFF入選

監督: 手塚 眞 Macoto Tezka

空飛ぶ円盤にさらわれた少女は宇宙人都市へ。手塚監督が高校2年生で手掛けた第2作で、8mm映画の可能性に挑んだ意欲作。

『HIGH-SCHOOL-TERROR』 1979年/6分/1981年PFF入選

監督: 手塚 眞 Macoto Tezka

放課後の教室に残る女子高生2人。手塚監督が高校卒業目前に撮った本作は、すこぶる怖い8mm作品として全国で自主上映された。

『雨女』 The Rain Women 1990年/72分/1990年PFF入選

監督: 矢口史靖 Shinobu Yaguchi

降りしきる雨の中、貧乏暮らしの女2人はやりたい放題。ドキュメンタリー、B級ホラー、前衛映画とジャンルを混在させ、2人は疾走する。

02 Hachimiri Madness!! PROGRAM ▶9/13[火] 19:00～
▶9/16[金] 16:00～

『1/880000の孤独』 Isolation of 1/880000 1977年/43分

監督: 石井聰互(岳龍) Sogo (Gakuryu) Ishii

東京の片隅で孤独な毎日を送る浪人生の鬱屈が、なんの前触れもなく爆発！自主映画界の革命児・石井監督、原点の1作。

『電柱小僧の冒険』 The Adventure of Denchu-Kozo 1988年/45分/1988年PFF入選

監督: 塚本晋也 Shinya Tsukamoto

背中に電柱が生えて、いじめられてきた学生が、未来にタイムスリップ、人類支配を企む鉄の吸血鬼軍団と戦う。スピーディーな演出に注目！

03 Hachimiri Madness!! PROGRAM ▶9/10[土] 11:30～(小ホール)
▶9/20[火] 18:30～

『男の花道』 A Man's Flower Road 1986年/111分/1987年PFF入選

監督: 園 子温 Sion Sono

東京が舞台の第1部のあと、東京で一旗あげたくも地方で悶々と過ごす男を描く。家と家族を断ち切れない心の叫びが痛烈に響く。

『はなされるGANG』 Hanasareru Gang 1984年/85分/1985年PFF入選

監督: 諏訪敦彦 Nobuhiro Suwa

耳の聞こえないギャングと文庫本を読む少女の逃走劇は、ドラマの虚構性について考察しつづける諏訪監督の本質が詰まっている。

05 Hachimiri Madness!! PROGRAM ▶9/15[木] 16:00～
▶9/17[土] 16:00～(小ホール)

『愛の街角2丁目3番地』 Happiness Avenue 1986年/93分/1987年PFF入選

監督: 平野勝之 Katsuyuki Hirano

喧嘩別れした恋人。男はオカマになろうとし、女は乞食の仲間に。原作の太友克洋作品を過激にはみだし、大島渚監督に大絶賛された。

06 Hachimiri Madness!! PROGRAM ▶9/15[木] 18:30～
▶9/17[土] 12:00～

『聖テロリズム』 Saint Terrorism 1980年/127分

監督: 山本政志 Masashi Yamamoto

とあるマンションに住む無差別殺人者や独り言の多い死体など異様な登場人物たちを同時進行で描く、過激にぶつとんだ衝撃作。

07 Hachimiri Madness!! PROGRAM ▶9/14[水] 19:00～
▶9/18[日] 13:00～(小ホール)

『俺は園子温だ!!』 I Am Sion Sono!! 1984年/37分/1986年PFF入選

監督: 園 子温 Sion Sono

暗い室内で眩く自撮りシーンから一転、カメラは突然走り出す。既存の映画ルールを壊し続けてきた園監督の創作エネルギーが凝縮。

『東京白菜関K者』 Tokyo Cabbage K 1980年/59分/1981年PFF入選

監督: 緒方 明 Akira Ogata

ある朝起きたら白菜に変身していた男K。カフ力を下敷きしながら文学性とは無縁に街を疾走するKを捉えた新感覚アクション映画。

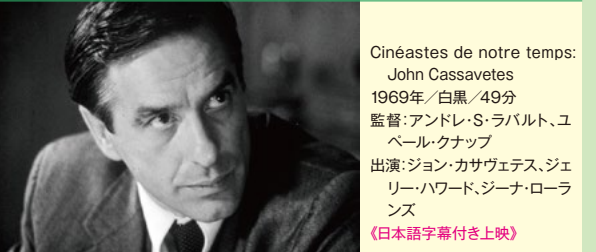
「新企画」傑作発見！

第38回 PFF 検索

生涯、見逃して終わる映画の数を想い、気が遠くなるときがあります。新企画「傑作発見」プログラムは、過去の公開作、映画祭上映作など、一度はチャンスのあった作品を再び蘇らせる試み。今度こそ、お見逃しなく！

2本で体感！ ▶9/11[日] 11:00～
「アメリカのインディペンデントスピリッツ」 ▶9/21[水] 18:30～

『我等の時代の映画作家シリーズ ジョン・カサヴェテス』



生前のジョン・カサヴェテスのインタビューと貴重映像で構成されたドキュメンタリー作品。1965年、自宅編集室での『フェイス』編集作業開始時、そして3年後にヴェネチア国際映画祭に参加するために立ち寄ったパリ。それぞれでインタビューを受けるカサヴェテスが、それぞれ異なる表情で、自分自身を語った必見作。 山形国際ドキュメンタリー映画祭2015にて上映

『The Exiles エグザイル』



ロサンジェルスダウンタウンで生活するネイティブ・アメリカンの若者たちの、金曜の午後から明け方までを描く。監督は時間をかけて彼らと交流、居留地から離れた胸の内を引き出し、それぞれ本人役で普段の生活を演じさせた。1961年のヴェネチア国際映画祭で高く評価され、2008年に修復版が完成。 第6回恵比寿映像祭にて「異郷生活者たち」というタイトルで上映

古厩智之監督、幻の傑作再発見！ ▶9/18[日] 11:00～

『まぶだち』 ©2000・WOWOW/バンダイビジュアル



『この窓は君のもの』に続く古厩智之監督の長編第2作。小さな町に住む3人の男子中学生。夏の日放課後に起きた“ある事件”をきっかけに彼らの周囲にはわかに波立ち始める。監督の故郷・長野県を舞台に、友達同士や対教師の心の葛藤をリアルに描き出す。2001年、ロッテルダム国際映画祭グランプリ&国際批評家連盟賞W受賞作。

もっと知っておきたい映画のノウハウを、講座形式で公開する、日本一役に立つ授業。それが「映画のコツ」シリーズ。

参考上映作品を観た後で、お互いに敬意を持った登壇者たちが、対談あるいは鼎談を展開。

「いま、映画を志す人」と「あらゆる映画ファン」にお届けする、ここでしか観れない!、ここでしか聞けない!が満載の贅沢な時間です。

(敬称略)

「俳優業と監督業」

オープニング

鼎談

▶9/10[土]11:00～



渡辺謙作 × 前野朋哉 × 森岡 龍
監督

傑作『エミアビのはじまりとはじまり』(9/3公開)で組んだ渡辺謙作監督と、主演の前野朋哉&森岡 龍氏の共通点は、全員が、映画監督であり、俳優である、ということ。演出と、出演、その両方を体で知る3名が改めて検証する俳優、監督という仕事。参考上映は、渡辺監督の映画初参加となった作品であり、監督であり俳優の先輩・鈴木清順監督作品であり、長谷川和彦監督の初出演作品である『夢二』。演出の神髄が掴めそうです。

参考上映作品『夢二』



1991年／128分／35mmフィルム
監督:鈴木清順
出演:沢田研二、坂東玉三郎、穂谷友子
協力:リトルモア

駆け落ちを約束した恋人と湖畔で落ち合うはずが、別の女性に心奪われ…。『ソイゴインレイゼン』の鈴木清順監督が描く、画家・竹久夢二の物語。

「映画の新しい表現」

対談

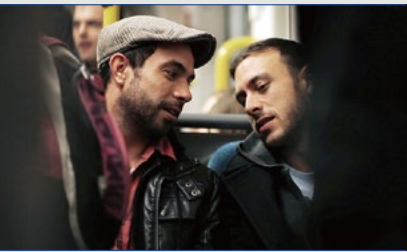
▶9/13[火]11:00～



橋口亮輔 × 鈴木敏夫
監督 プロデューサー

新人俳優たちとオリジナルストーリーに挑んだ名作『恋人たち』で、考え尽された映像と科白、そして肉体の動きにより能弁で濃厚な映画の世界を示した橋口亮輔監督と、橋口ファンを公言するスタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーが、映画の表現について検証します。参考上映作品は『ウィークエンド』。映画にとって、新しい表現とは何か? この壮大で永遠の課題に、答えは出るか? スリリングな時間の予感が溢れます。

参考上映作品『ウィークエンド』



WEEKEND
2011年／96分
監督:アンドリュウ・ヘイ
出演:トム・カレン、クリス・ニュー、ジョナサン・レース
協力:THE FILM COLLABORATIVE
《日本語字幕付き上映》

『さざなみ』のアンドリュウ・ヘイ監督が、ゲイクラブで出会った青年2人の奇跡の週末を描いた作品。ゲイ版『ピフォア・サンライズ』と評され、世界中で称賛された。

「作家映画の行方」

対談

▶9/17[土]15:00～



真利子哲也 × 堀越謙三
監督 プロデューサー

『ディストラクション・ベイビーズ』で暴力映画の神髄に迫った真利子哲也監督が今、一番話を聞きたい方は、日本にミニシアター文化を導入したユーロスペース代表の堀越謙三さん。ヴィム・ヴェンダースの『さすらい』を日本公開することから始まった堀越氏の活動は、キアロスタミ、カウリスマキ、カラックスらへの支援や、映画美学校、東京芸術大学と、映画教育にも発展します。参考上映は『汚れた血』。改めて考える「作家映画」です。

参考上映作品『汚れた血』



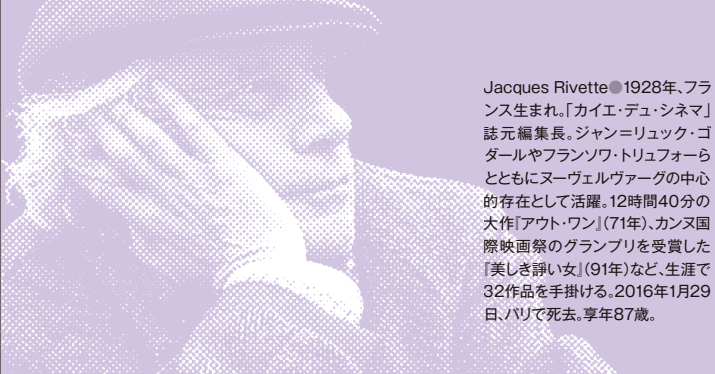
Mauvais Sang
1986年／125分／35mmフィルム
監督:レオス・カラックス
出演:ドニ・ラバン、ジュリエット・ピノシュ、ミシェル・ピッコリ
協力:株式会社メタリオンメディア
《日本語字幕付き上映》

亡き父の友人マルクから犯罪の誘いを受けたアレックスは、マルクの情夫アンナに運命を感じ…。映画史に残る数々の名シーンは、カラックスの評価を決定づけた。

追悼・ジャック・リヴェット。女優の魔術師

1月に世界を駆け巡った訃報。

未公開作品の多い日本で追悼企画のアイデアは溢れんばかりですが、まずは、パリで再公開の始まった『セリーヌとジュリーは船でゆく』を、リヴェット入門の名作上映としてお贈りします!



Jacques Rivette ●1928年、フランス生まれ。「カイエ・デュ・シネマ」誌元編集長。ジャン＝リュック・ゴダールやフランソワ・トリュフォーらとともにヌーヴェルヴァーグの中心的存在として活躍。12時間40分の大作「アウト・ワン」(71年)、カンヌ国際映画祭のグランプリを受賞した『美しき酔い女』(91年)など、生涯で32作品を手掛ける。2016年1月29日、パリで死去。享年87歳。

人気No.1。

▶9/11[日]14:00～(小ホール)

フランスで再公開中!

▶9/22[木・祝]12:30～(小ホール)

『セリーヌとジュリーは舟でゆく』

Photo ©Marilu Parolini



Celine et Julie vont en bateau
1974年／192分
監督:ジャック・リヴェット
出演:ジュリエット・ベルト、ドミニク・ラブリエ、ビュル・オジエ
《新たな日本語字幕付き上映》

パリの街角で出会ったセリーヌとジュリーは、魔法のキャンディを舐めては少女が毒殺される家庭劇を幻視、ついには少女を救うべく物語に侵入!『不思議の国のアリス』風冒険譚は、リヴェットの魔術が充満する迷宮だ。

Ticket

第38回PFF 東京会場チケット料金表			前売券		当日券						
			Pコード	一般	一般	高校 大学 シニア	キャンパス メンバーズ (教職員)	キャンパス メンバーズ (学生)	中学生 小学生	障害者 介添者	びあ割引
コンペティ ション部門	PFFアワード2016	自由 席	前売券の販売は ございません		1,000	800	800	700	520	520	800
	PFFアワード2016 表彰式	指定 席	555-865	1,500	1,800	1,400	1,800	1,300	1,000	1,000	1,500
招待作品 部門	オープニング 8ミリ・マッドネス!! 傑作発見! PFF講座シリーズ「映画のコツ」 追悼・ジャック・リヴェット。	指定 席	555-866	1,200	1,500	1,100	1,100	1,000	520	520	1,200
	クロージング										
招待作品 部門	オープニング 8ミリ・マッドネス!! 傑作発見! PFF講座シリーズ「映画のコツ」 追悼・ジャック・リヴェット。	指定 席	555-866	1,200	1,500	1,100	1,100	1,000	520	520	1,200
	クロージング										

今年からチケットが変わります!

コンペティション部門「PFFアワード」は当日券のみ・全席自由席の販売とします。招待作品部門は従来通り、全席指定席で前売券・当日券を販売します。

※ただし、PFFアワード表彰式は全席指定席となります。前売券も販売します。

前売券はチケットぴあにて、8/13[土]午前10時より販売!

▶プレリザーブ受付期間…8/8[月]午前11時～8/12[金]午前11時

【前売券】 販売場所: チケットぴあ(店舗/インターネット/電話予約)、サークルK・サンクス、セブン-イレブン
販売期間: 発売日から上映日の2日前まで。
電話予約は5日前まで。

【当日券】 販売場所: 東京国立近代美術館 フィルムセンター1F
販売時間: 各回上映の30分前～開映まで。
定員に達し次第、販売を終了します。
※各回1名につき1枚しか購入できませんので、ご注意ください。

【知らなきゃ損! PFFのチケットまとめ!!】

- 開映すると、当日券の販売は終了します。遅れてくると購入することができません。ただし、招待作品部門は前売券を持っていれば、万が一遅れても特別に入場が可能になります。
- 学生は、当日券が最安値で鑑賞できます。ただし、前売券が完売した場合は、当日券の販売はありませんのでご注意ください。
- 表彰式などの人気プログラムは、プレリザーブ申込で確実に!
- 前売券購入時、チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブン-イレブンの店舗で直接購入する場合、発券手数料として108円/枚がかかります。また、インターネット、電話予約にて購入する場合、発券手数料およびシステム使用料として、324円/枚がかかります。
※前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。
チケットぴあ音声認識予約: 0570-02-9999
インターネットで購入: pia.jp/t/pff/
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は証明できるものをご提示ください。障害者介添者は原則1名まで障害者と同じ料金でご入場いただけます。
- 国立美術館キャンパスメンバーズの方は、学生証・職員証のご提示により当日料金が割引になります。 www.artmuseums.go.jp/campus/
- 当日券の有無は、各上映の前日にフィルムセンターのホームページで確認することができます。 www.momat.go.jp/

チケット
ぴあ